

# JICAナレッジサイト(日本語教育分野)で 派遣実績と帰国後の進路をご紹介します。

1965年に青年海外協力隊の初代日本語教師がラオスに派遣されて以来、延べ68カ国に3,635名のJICA日本語教育ボランティアが派遣されており、現在133名のJICA日本語教育ボランティアが各国で活動しています。(2015年10月1日時点の数字で、延べ人数には派遣中人数を含みます。)

JICAナレッジサイト(日本語教育分野)では、JICA日本語教育ボランティアの派遣実績をはじめ、募集期ごとの応募・合格状況、各国の配属先情報などを公開し

ています。

ボランティア活動を終えた後、国内外で日本語教育を続ける人、一般企業に勤める人、公立学校等で教職に就く人など、帰国後の進路は様々です。

なお、2010年に青年海外協力隊日本語教師及び日系社会青年ボランティア日系日本語学校教師を対象に帰国後の状況調査が実施されました。(下図参照)

詳しい結果等につきましては、右記サイトで公開されておりますので、そちらもご覧ください。

JICA ナレッジサイト - JICA KNOWLEDGE SITE - ナレッジサイトマップ

ナレッジサイトトップ 分野別 プロジェクト情報

ナレッジサイトトップ>分野別>日本語教育

分野別コンテンツはこちら

コンテンツの概要一覧

最新TOPICS を参照する

全ての最新TOPICSはこちらから

※下記の内容は、最終更新まで表示しています

公開日	タイトル
2013/10/22	JICA日本語教育ボランティア 国際派遣人数・配属先一覧
2013/10/22	JICA日本語教育ボランティア 国際派遣概況 中近東
2013/10/22	JICA日本語教育ボランティア 国際派遣概況 欧州
2013/10/22	JICA日本語教育ボランティア 国際派遣概況 大洋州
2013/10/22	JICA日本語教育ボランティア 国際派遣概況 中南米

最新からコンテンツを探す

基礎の基礎知識を知る

業務運営のノウハウを知る

参考文献・JICA作成資料を参照する

小分類からコンテンツを探す (検索は分科別のコンテンツ)

英語 (25)

日本語教育 (6)

全小分類 (25)

分野別コンテンツをダイレクトに検索したい場合は Click Here

JICAプロジェクトはこちら

実施中プロジェクト

全プロジェクト

研修コース

## 日本語教育

日本語教育分野における活動のご案内

日本語教育分野では、JICAの日本語教育に関するデータの収集・蓄積・活用、情報発信等の活動を行っています。主な活動内容は以下のとおりです。

- JICAの日本語教育関連のデータ収集、分析、整理
- メールマガジンの運営・メールマガジンの配信
- JICAの日本語教育関連業務担当部署からなる連絡会の運営
- 外部有識者と連絡会構成員による支援委員会の運営
- ナレッジサイトの運営
- 日本語教育ボランティアに対する各種支援

JICAの日本語教育分野の協力メニュー

【ボランティア派遣】

開発途上の中等教育機関、高等教育機関、公開講座などに日本語教育ボランティアを派遣し、現地の学習者に日本語を教えるとともに、現地日本語教師の育成の手助け等も行う。ボランティアの職種は、青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、日系社会青年ボランティア、日系社会シニア・ボランティアの4タイプがある。 JICAボランティア

【研修】

JICAの国内機関では技術研修員の希望者に対して日本語指導を行っている。また、JICA横浜においては、特に日系人の日本語教師に対して日本語の効果的な教え方を指導するコースをレベル別に設けている。

【日本センター】

JICAの技術プロジェクトにて、6ヵ国(2013年4月時点)の日本センターに対し、主にセンター運営能力の向上、ビジネス人材育成の協力を行っている。(ウクライナ及びカザフスタンの日本センターはJICAのプロジェクトが終了し、現地側により運営されている。) 各日本センターではビジネスコースのほか、日本語コース、相互理解促進事業の3つが活動の柱となっている。 日本センター

往日コンテンツ!紹介

- JICA日本語教育ボランティア 国際派遣人数・配属先一覧
- 現在の日本語教育ボランティア派遣人数と累計人数及び現在派遣されている配属先の一覧
- JICA日本語教育ボランティア 国際派遣概況 アジア (その他、アフリカ・欧州・大洋州・中近東・中南米も有)
- 各国の日本語教育ボランティアの配属先の特徴や、派遣人数の実績チャート

JICA ナレッジサイト: <http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject2301.nsf/>

# JICAボランティアに対する JICAの支援制度を一部ご紹介します。

JICAでは、派遣前、派遣中、そして派遣後に、以下のような支援を行っています。

## 派遣前 技術補完研修

受入機関での協力活動で必要とされる実務的な技術・技能などの向上を図ることを目的とした研修です。原則、青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアが対象です。期間、場所は適宜指定されます。



## 派遣前 派遣前訓練

青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアは70日間、シニア海外ボランティア及び日系シニアボランティアは35日間の合宿制の訓練です。二本松(福島)、駒ヶ根(長野)の訓練所などで、現地で必要な語学学習を中心に、JICAボランティアとして必要な知識(ボランティア事業、異文化理解、安全管理、健康管理など)を学びます。



## 派遣中 活動支援

青年海外協力隊事務局に在籍する日本語教育分野の専門家(技術顧問)に活動に関する助言や指導を求めることが出来ます。

## 派遣中 健康管理支援

各在外事務所に健康管理員(日本の看護師免許取得者)を配置し、健康相談、病気の医療情報の提供などを行っています。

## 派遣後 進路相談

進路相談カウンセリングや、求人情報の提供などを行っています。

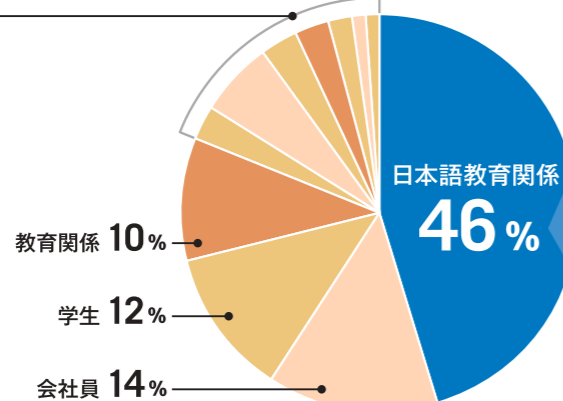
## 派遣後 教育訓練手当

帰国後に、さらなる技術・技能の修得または免許・資格の取得につながる教育訓練、進学に対して、JICAが支援する制度です。日本語教育ボランティアでは、大学院進学での利用が多いです。

詳細はWEBサイト「JICAボランティア教育訓練手当」をご覧ください。

## ボランティア活動を 終えた後の 現在の職業

- その他の行政機関 1%
- 官庁 1%
- JOCA 2%
- 地方自治体 3%
- 大使館 3%
- JICA 事業関係 6%
- 無職(家事従事者含む) 3%



## 「日本語教育関係」の内訳

- 日本語学校・専門学校 — 40%
- 大学(講師・客員教授) — 19%
- 日系人就業準備関係 — 13%
- 自治体・学校教育機関 — 11%
- 国際交流基金 — 6%
- JICAボランティア — 4%
- NGO — 2%
- その他 — 4%

※小数点以下の四捨五入により合計が100%にはなりません。